



一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
自然環境と調和した道づくりに向けて
＝＝＝オオタカと共生する千葉圏央道＝＝＝
（第13回千葉圏央道猛禽類保全対策検討委員会 開催の報告）

記者発表資料

千葉圏央道沿線において、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種に指定されているオオタカの生息が確認されています。

このため、オオタカとの共生を目指し、今後の調査の進め方、圏央道がオオタカに及ぼす影響及び保護方策について検討を進めていくため、専門家からなる「千葉圏央道猛禽類保全対策検討委員会(委員長:阿部 學 日本猛禽類研究機構 理事長)」を設置しております。

この度、平成19年3月27日に「第13回 千葉圏央道猛禽類保全対策検討委員会」を開催しましたので、その概要についてご報告します。

○これまでの委員会での主な検討内容は以下のとおりです。

- ・オオタカの生態調査
- ・オオタカの保全対策
- ・調査及び工事の計画

○第13回検討委員会での主な意見及び了承事項は以下のとおりです。

- ・事業との関係を把握するうえで、今後も基礎データの蓄積が重要である。
- ・事業の実施に際しては、今後もモニタリング調査を継続する必要がある。
- ・工事影響有無調査については、今後も蓄積されたデータに基づき引き続き検討すること。
- ・幼鳥及び成鳥の行動の追跡調査について、今後も継続すること。
- ・平成19年に予定している調査・工事について了承されました。

平成19年3月28日

国土交通省関東地方整備局 千葉国道事務所
東日本高速道路株式会社関東支社 千葉工事事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省	関東地方整備局	千葉国道事務所	
副所長	藤田 明	電話	043-287-0311
東日本高速道路株式会社	関東支社	千葉工事事務所	
副所長	金枝 寿孝	電話	043-350-3321

はじめに

千葉圏央道沿線において、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種に指定されているオオタカの生息が確認されています。

このため、オオタカとの共生を目指し、今後の調査の進め方、圏央道がオオタカに及ぼす影響及び保護方策について検討することを目的として、専門家からなる「千葉圏央道猛禽類保全対策検討委員会（以下「委員会」と言う）」を設立（平成14年4月22日）して、学識経験者等の指導・助言を得ながら慎重に事業を進めていくこととしています。

平成19年3月27日、「第13回委員会」を開催しましたので、その概要についてご報告します。

1. 第13回検討委員会について

1) 第13回検討委員会では、これまでの委員会での指導・助言を受けて、以下の内容について報告・検討を行いました。

- ・平成18・19年生態調査結果について
- ・保全対策の調査・検討について
- ・工事影響に関する調査結果について
- ・営巣適地林への誘導試験について
- ・今後の調査計画および事業進捗について

2) 主な意見および了承事項

- ・事業との関係を把握するうえで、今後も基礎データの蓄積が重要である。
- ・事業の実施に際しては、今後もモニタリング調査を継続する必要がある。
- ・工事影響有無調査については、今後も蓄積されたデータに基づき引き続き検討すること。
- ・幼鳥及び成鳥の行動の追跡調査について、今後も継続すること。
- ・平成19年に予定している調査・工事について了承されました。

2. 検討経緯の報告について

「千葉圏央道猛禽類保全対策検討委員会」の経過については、専門家の意見を聞きながら、オオタカ等の保護に支障のない範囲で公表してまいります。

※オオタカの飛翔状況、営巣地等に関する情報の公表は、営巣地が特定され、密猟のほか、カメラマン、観察者等多数の人々が営巣地近辺に出入りし、繁殖を阻害する恐れがあるため控えさせていただきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



千葉県区間の概要



<茂原長南IC(仮称)～木更津東IC>

- ・用地取得、トンネル、橋梁などの工事を推進しています。
(用地取得率:86%)

<東金IC・JCT(仮称)～茂原長南IC(仮称)>

- ・用地取得を推進、一部工事に着手しています。
(用地取得率:60%)

<大栄JCT(仮称)～松尾横芝IC>

- ・都市計画決定の手続きを行っています。

<茨城県境～大栄JCT(仮称)>

- ・用地取得を推進、一部工事に着手しています。
(用地取得率:58%)

※用地取得率は平成18年12月末現在